

一般質問

市民クラブ

健康・福祉

高齢者交通費助成事業の在り方

問 ポイント交換機を地域センター等に設置する考えはないか伺いたい。

答 令和3年4月からICカードの利用実績に応じて、ポイントで助成する方法に変更したが、交換機が近隣にはない、遠いなどのご意見をいただいていることから、制度変更後の課題であると考えている。

また、交換機は各交通事業者の営業所などに設置されているが、制度の円滑な運用のため、各地域のICカードの利用状況や交換機までの距離などを踏まえ、交換機まで遠い場合は、地域センターなど公共施設への設置を検討している。併せて、交通事業者やICカード会社による交換機の増設についても、引き続き協議を重ねながら制度の説明や周知を丁寧に行い、利用しやすい環境づくりに取り組んでいく。

農水産業

農業センターと水産センターの役割

問 新市庁舎が開庁するが、農業者が気兼ねなく立ち寄れる農業センターの機能を充実できないか。また、水産センターの施設整備に当たっては、もつと漁業者の声を聞くべきではないか。

答 農業センターでは、農業ヘルパー育成のための研修のほか、近年は耕作放棄地対策として導入可能な作物の試験研究を農家と協働で行うなど、市民の農業に関する相談に随時対応している。今後も関係機関と連携を深めながら、農業者が利用しやすい施設となるよう取り組んでいく。

水産センターの役割は、沿岸域の生産性向上につながるきめ細かい取組などであり、地域に密着したものであることが重要だと考えることから、本市の水産業にさらに貢献できる施設となるようにより深く関係者の意見を聞きながら取り組んでいく。



▲農業センターでの研修の様子

公明党

防災

一般国道499号の冠水対策

問 これまでの道路冠水への対応状況や今後の対策について伺いたい。

答 柳田町の交差点については、県が国道の側溝などの実態を把握するため、9月中にカメラ調査を実施し、その結果を踏まえ、取り組むこととしている。野母崎地区の以下宿町では、市が管理する水路が詰まり、旧国道まで水があふれる事態が生じたため、水路の清掃など応急的な対策を実施しており、今後、具体的な排水対策の検討を行う。

また、同地区の脇岬町では、昨年国道沿いの落石防護柵の損壊と道路冠水が発生し、県により防護柵の復旧と直立護岸に排水溝を設けるなどの対策が講じられたところであり、今後も冠水しない対策を要望していきたい。

いずれの箇所においても、県と連携しながら、災害に強い道路づくりに向け、取り組んでいきたい。



▲道路冠水の状況 (柳田町)

観光

長崎ロープウェイ延伸可能性調査後の進捗

問 ロープウェイの移転や延伸に係る検討状況についての進捗を伺いたい。

答 延伸に伴う諸課題として、新たな停留場駅舎の場所や鉄塔の新設、駅舎ホーム高等の構造面での工夫の必要性などが上げられており、その解決に当たっては、延伸軌道下周辺の土地所有者など関係者との調整や、軌道が県道浦上川線等の上空を通過することに伴う県との協議や技術的な課題への対応などが必要となる。

こうした中、これまで様々な課題の解決方法を議論し、現在は、延伸した場合の長期的な収支算定と、継続的な運営の可能性について精査を進めている。

延伸を含むロープウェイの在り方については、本市の関係部局で組織する長崎サッカースタジアム検討推進会議での検討結果を踏まえ、令和4年度中をめどに方向性を示したい。



▲長崎ロープウェイ